

◇分かち合いのフー-?◇

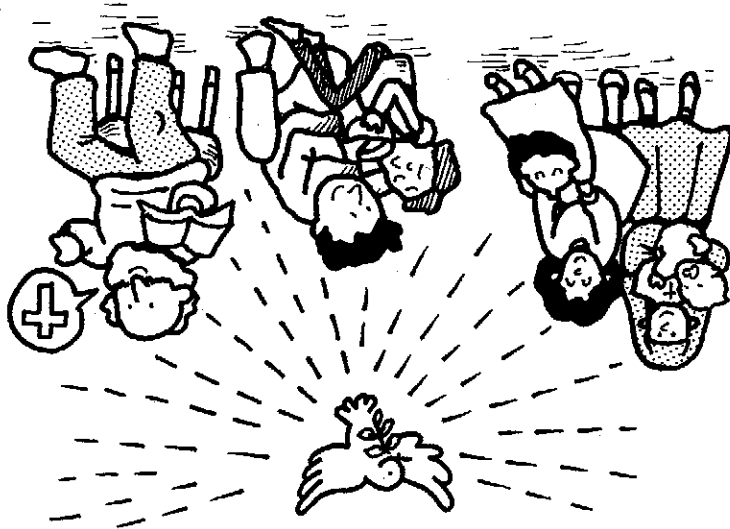
\* あなたの長所は何ですか？ また、それをどのように生かしていると思いますか？

\* グループや組織の中で、あなたはどんなところを人から誉められたことがありますか？

また共同体の中で、自分に向いている役割はどんなことだと思いますか？

\* あなたは、今までの人生の歩みの中で、どんなところで、どんなときに強く心を動かされましたか？

あなたはそれをどのように受け止め、どのように行動してきましたか？



キリストの救いの業を受け継いで信徒が働かなければならない、といわれても、とてもそんな能力はないと感じる人は多いでしょう。確かにたいていの場合、信徒は、司祭やシスターのような養成を受けてはいませんが、しかし聖霊は、人びとの善と教会の建設のためには、洗礼や堅信の秘跡などを通してすべてのキリスト者の上に神の霊を注ぎ、豊かな力を与えておられます。その具体的な現れは一人ひとり異なり、「固有の賜物(カリスマ)」と呼ばれます。その固有の賜物を生かし、一人ひとりが奉仕するよう招かれているのです。家庭で作る料理は、プロの料理人が作るものよりにはいきません。しかし、わたしたちが日々働き生活する力のもととなっているのは、多くの場合家庭の料理でしょう。取り立てて豪華でもなく、その味には一軒一軒違いがあります。そのように、私たちに与えられている固有の賜物も、ひとつ取り立てて目立ったものでもないでしょうし、それぞれが異なっていて当然なのです。

大切なのは、たとえそれがどんなにわずかなものと思えても、自分に与えられている力に気付き精一杯活用することです。また、ほかの人にはない自分に独自なものを大切にすることです。与えられている力がわすれたからといってそれを使わなければ、あるいは人ものをつらやんで自分のものを軽んじてしまえば、せっかく自分に与えられたものも生かせず、与えられているのに取り上げられてしまふことにもなるでしょう。

8. そんなことから、どこにあるの？  
《信徒奉仕職とは - 信徒が担う働き》